

### 第3回大野市都市マスタープラン改訂委員会の会議結果の概要

日時 令和3年6月24日（木）

午後6時30分～

場所 結とびあ（大野有終会館）

302号室

#### 1 開会

#### 2 協議事項

- ・大野市都市マスタープラン改訂スケジュール（案）について
- ・第2回改訂委員会での主なご意見と対応方針（案）について
- ・全体構想について
- ・分野別の都市づくりの方針について

資料に基づき説明。

#### 【委員のみなさんの主な意見】

- 人口フレームについて、2045年の目標人口を23,200人と設定しているが、人口推計を受け入れるのではなく、前向きな値にするべきではないか。
- 人口が減っていく事実は変えがたい事実であるが、ポジティブな見せ方、伝え方が考えられないか。
- 目標を実現するためには、行政が予算をかけて事業を実施するだけでなく、住民が力を合わせて足りないところを補っていく「結」の心の精神でクリアできるという期待が持てる表現ができないだろうか。
- 都市マスタープランは、都市づくりの全般を網羅的に包括した基本的な方針となるが、もう少し踏み込んで、「いかに具現化していくか」に関する記載を検討できないか。
- 都市づくりの目標を、市民自治などを前面に出してソフト面を強調するなど、インパクトのある分かりやすい表現にしてはどうか。
- 災害について、目標の実現のために取り組むには、いろいろと細かいところを詰めて、多くの難しい課題を解決する必要がある。
- 子育てしやすい環境とは、例えば移動がしやすいとか、医療サービスが受けやすいとか、様々考えられるはずだが、資料には公園づくり以外に見当たらない。
- どのようにしたら良いまちになるのかを住民が考えたり活動したり促すことが重要である。

- 総合的な治水対策は、「あらゆる関係者が協働して」と表現されているように、地元の方に協力いただかないと進まないという意識を持ってほしい。  
公共交通の維持は、新しい公共交通のあり方や高齢社会における公共交通とまちづくりのあり方が重要になる。
- 大野には資源や良いところがたくさんあるので、人口が減っていても頑張れるといった現状と展望の中で、市民が意気消沈しないような計画にすべきである。

### 3 その他

### 4 閉会